



国連承認
取得技術

堆肥原料1tあたりBX-1(3kg)添加



表面を剥がすと放線菌の層が現れる

※BX-1を与えていない牛糞や食品残渣にBX-1を添加し堆肥化した写真 約1ヶ月処理後。



国連承認
取得技術

醗酵実験内容

一山約2m³の原料牛糞に、脱脂ヌカ(5k g)・BX-1(5k g)・無添加の三山をつくり、醗酵状態をそれぞれ確認する。



※脱脂ヌカはBX-1の原料



実験開始から15日目に切り返し、ガスを検知管で計測。

畜糞にはすでに多くの菌が介在しているため、添加する菌の作用は少なく餌となる糖を与えればよいとの意見に対し実験した。炭水化物(糖)はBX-1の原料の米ぬかを使用した。試験結果は次のページ。

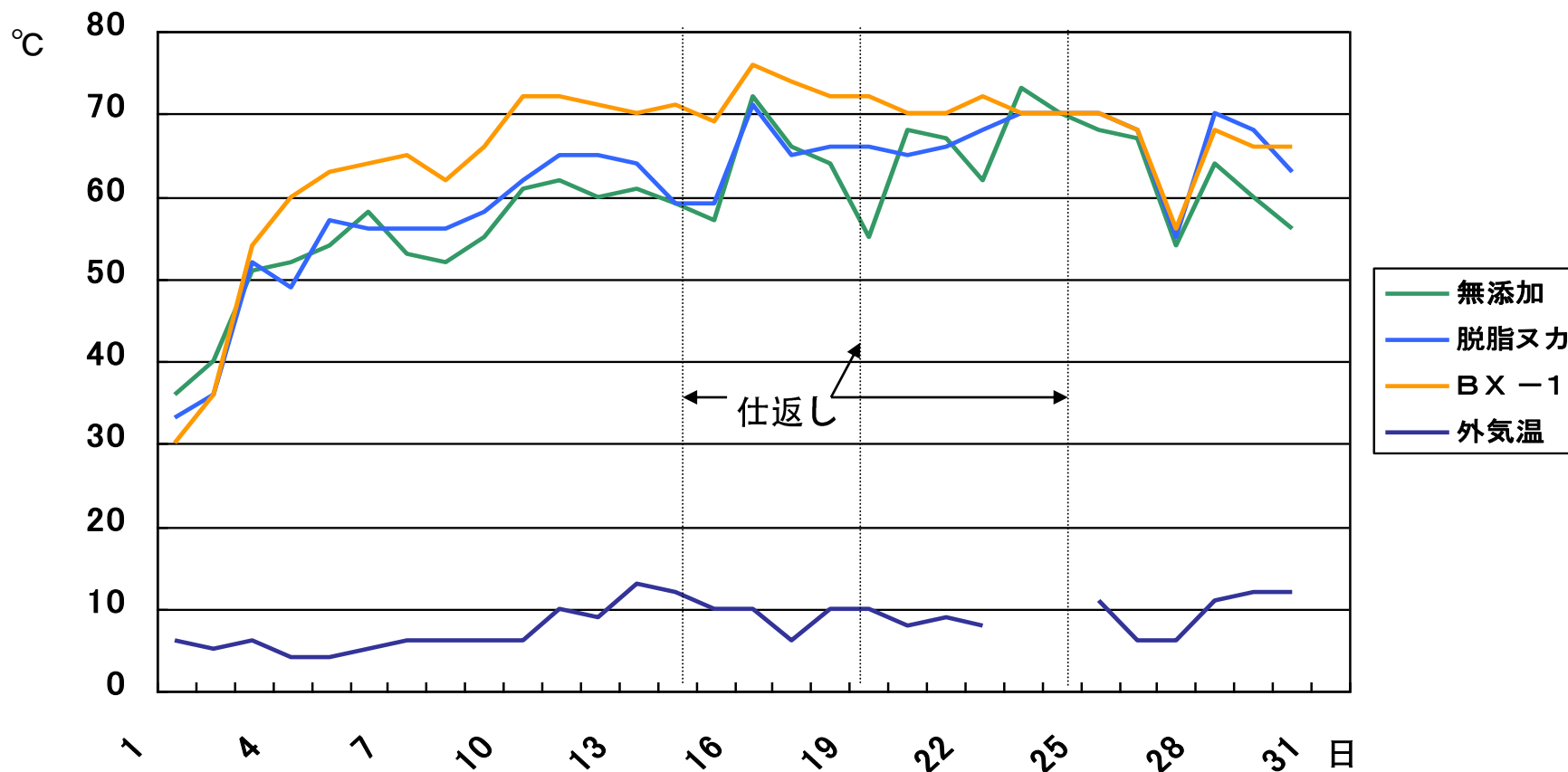


国連承認
取得技術

炭水化物(糖)と菌の効果についての検証実験

実験開始日：2003.3.14

実験終了日：2003.4.14.



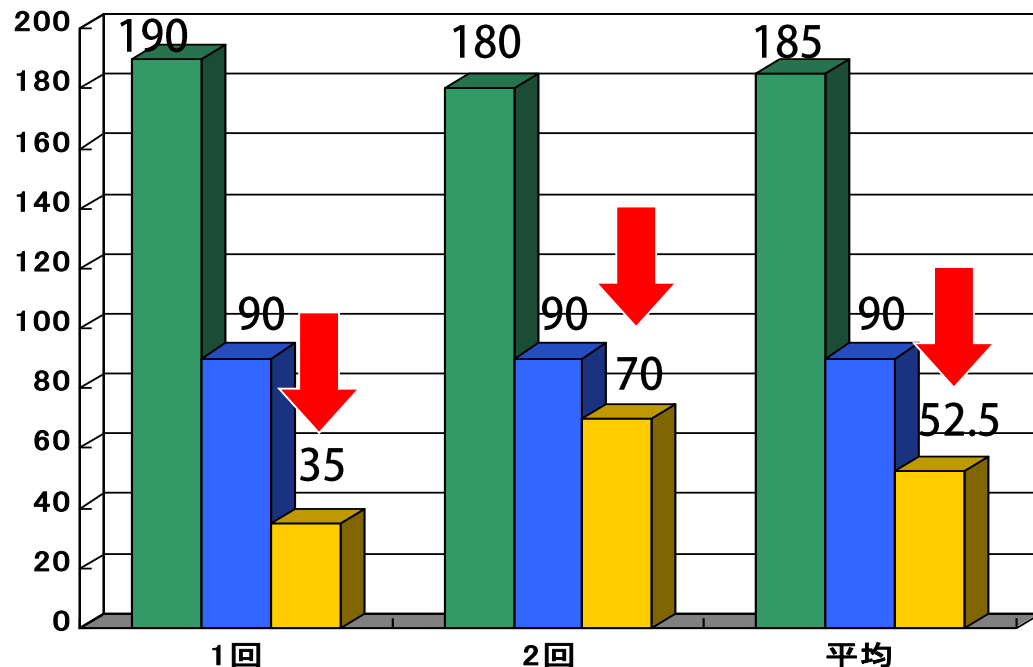
※BX-1区は他に比べ5°C~10°Cの差がで、温度が安定していた。BX-1区は表面に白い菌が多かった。



国連承認
取得技術

アンモニア臭気計測値

ppm



15日目に切返し

無添加より平均71%減！

※BX-1区は明らかに臭気が減少し、無添加区より71%減少していた。計測は切りかえし時に行った。